

作成日 2024 年 5 月 30 日
(最終更新日 2024 年 5 月 30 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5030

課題名 : 当院に救急搬送された自殺企図患者における SAD PERSONS scale と精神科入院の関連および精神科入院のリスク因子の検討 : 単施設後向き観察研究

1. 研究の対象

2019 年 1 月～2023 年 12 月に当院に自殺企図 (薬の過量内服や自傷行為) で救急搬送された方

2. 研究期間

2024 年 6 月 (研究実施許可日) ～2026 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 10 月 1 日

提供開始予定日 : 2024 年 10 月 1 日

4. 研究目的

救急外来に自殺企図で受診される患者様は企図に伴う身体的加療だけでなく、精神症状によっては精神科病棟へ直接移動し入院加療 (精神科入院) を要する場合があります。自殺企図患者様は精神科医の評価のうえ精神科入院の必要性を判断することが望ましいですが、すべての救急病院で精神科医が常駐しているわけではなく、非専門医でも評価できる方法を模索することは重要です。一方で、非精神科医が将来の自殺リスクのある患者様の再企図の危険性を評価できる評価スケールである SAD PERSONS scale (SPS) が開発され、自殺企図で救急外来を受診された患者様への有効性を示した研究報告があります。ただし身体的な重症度が高い患者様にも SPS を適応して精神科入院を予測できるのかは不明となっております。

本研究では当院に救急搬送された自殺企図患者様を対象に、SPS 高値群 (5 点以上) と低値群 (5 点未満) に分類して精神科入院の割合を比較するとともに、統計解析を用いて精神科入院が必要となりうるリスク因子を抽出することを目的とします。

5. 研究方法

診療録を用いて下記の患者様情報 (6. 研究に用いる資料・情報の種類を参照) を抽出し、統計解析を用いて評価していきます。

患者様に侵襲行為が加わることは一切ございません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より以下項目を抽出いたします。

年齢、性別、既往歴（精神科疾患・自殺企図・薬物乱用の有無）、転帰（自宅退院、精神科入院、リハビリテーションなど非精神科病院転院）、自殺方法（薬物過量内服の場合は薬物名と錠数も）、精神科医師による精神科入院の有無、抑うつ症状の有無、幻覚・脳器質症候群・精神病状態の有無、社会的支援の欠如の有無、計画性の有無、配偶者の不在の有無、身体疾患（特に慢性の消耗疾患）の有無、喪失体験の有無、事故傾性の有無、自殺に関連した性格傾向の有無、身体的合併症の有無（有の場合は病名も）、救急部入院期間（入院日、退院日）、ICU 滞在期間、精神科入院期間（入院日、退院日）

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

講座研究費を使用し、利益相反は該当ありません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院救急部 長村 龍憲

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1225（内線 5655）

tnaga0802@ndmc.ac.jp

対応可能時間：平日 8:30～17:00

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院救急部 長村 龍憲